

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	夢門塾ゆうゆう太子		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 41
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりの特性理解に基づいた個別支援の質が高く、保護者からも「本人に合った支援をしてくれている」「愛情ある関わりが伝わる」といった評価が多く見られます。個別支援計画と実際の支援が一致している点も信頼につながっています。	職員間でのカンファレンスや朝礼・振り返りを徹底し、支援の方向性や役割分担を明確にしています。チーム支援体制がしっかり機能しています。	専門職との連携や助言体制をより分かりやすく保護者へ周知し、相談しやすい環境を整えていきます。
2	活動内容が非常に充実しており、外出活動や体験活動、新しいプログラムの導入など、子どもが様々な経験を積める環境が整っています。「NEW」マークを付けて新しい活動を分かりやすく示すなど、楽しみながら挑戦できる工夫も強みです。	自己選択・自己決定を促す支援を意識し、買い物体験や外食体験など実生活につながる活動を取り入れています。自己肯定感の向上につながる支援です。	参観日や保護者参加型行事を増やし、家族支援や理解促進につなげていきます。
3	保護者との情報共有が丁寧で、連絡帳アプリや写真付き報告、送迎時のフィードバックなどを通じて日々の様子を細やかに伝えています。保護者からも「利用日の様子がよく分かり安心できる」と高評価を得ています。	防災・安全管理への意識が高く、避難訓練、防災学習、消火器体験、防災食体験など実践的な取り組みを行っています。安全管理体制が整っています。	地域交流や地域連携の機会を拡大し、社会参加の場を広げていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設が2階にあり螺旋階段を使用する構造のため、バリアフリー面に制約があります。車いす利用児童への対応が難しい点が課題です。	建物構造上の制約により、完全なバリアフリー化が困難です。	階段利用時の安全対策や利用児童の受け入れ方法について引き続き工夫します。
2	地域交流や他児童との交流機会が十分とは言えず、拡充の余地があります。	地域交流は時間・調整・安全配慮の面でハードルがあります。	地域行事や外部交流の機会を計画的に増やしていきます。
3	職員による声かけのトーンや言い回し、特性理解の共有についてさらなる配慮を求める声があります。	小集団支援では安全確保のため即時対応が必要な場面があり、声かけが強くなる場合があります。	職員間で特性理解や関わり方の共有をより徹底し、支援の質を均一化します。